

1月14日：大型株がまちまちで、VN指数は小幅に続落

週末のベトナム市場は、大型株でボラタイルな値動きが見られ、落ち着きのない相場展開となった。

ホーチミン市場のVN指数は続落となったが、前日終値とほぼ変わらずの1,496.02ポイントで取引を終えた。

同指数は前日0.96%安の1,496.05ポイントで引けていた。

騰落別では285銘柄が下落、174銘柄が上昇した。

売買高は7億8,560万株を超え、売買代金は約22兆9,000億ドン（10億米ドル）となった。

VN30指数は0.19%安の1,523.57ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、14銘柄が上昇、12銘柄が下落、3銘柄は変わらずだった。

金融ニュースサイト vietstock.vn によれば、VN30指数の大型株はボラタイルな値動きとなった。なかでもPVパワー（POW）は4.73%高と上昇率でトップとなった。サコムバンク（STB）が2%高とそれに続いた。ファットダット不動産開発（PDR）、ビナミルク（VNM）、ベトコムバンク（VCB）、ビンコムリテール（VRE）も買われ、上昇率は1.4～1.9%となった。

サイゴンビール・アルコール飲料（SAB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ペトロベトナムガス（GAS）、ビンググループ（VIC）は1%未満の上昇にとどまった。

また値下がり銘柄にはノブランド不動産投資グループ（NVL）-1.8%、テクコムバンク（TCB）-1.5%、VPバンク（VPB）-1.1%、モバイルワールドインベストメント（MWG）-1.1%、ホアファットグループ（HPG）-1%が含まれた。他にもFPTグループ（FPT）、フーニュアンジュエリー（PNJ）、SSI証券（SSI）が1%ほど下げた。

外国人投資家はホーチミン、ハノイの両市場で買い越した。買い越し額はホーチミン市場で 7,700 億ドン、ハノイ市場で 112 億ドンとなった。

セクター別では全 25 業種のうち、保険、不動産、証券、情報通信、小売、ゴム製品、建設資材、物流を含む 12 業種が下落した。

また値上がり業種には石油ガス、銀行、卸売、不動産、ヘルスケア、農業、食品飲料、水産加工、建設が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は 1.31% 高の 466.86 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 2.71% 安の 460.83 ポイントで引けていた。

売買高は 8,600 万株を超え、売買代金は約 2.7 兆ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。